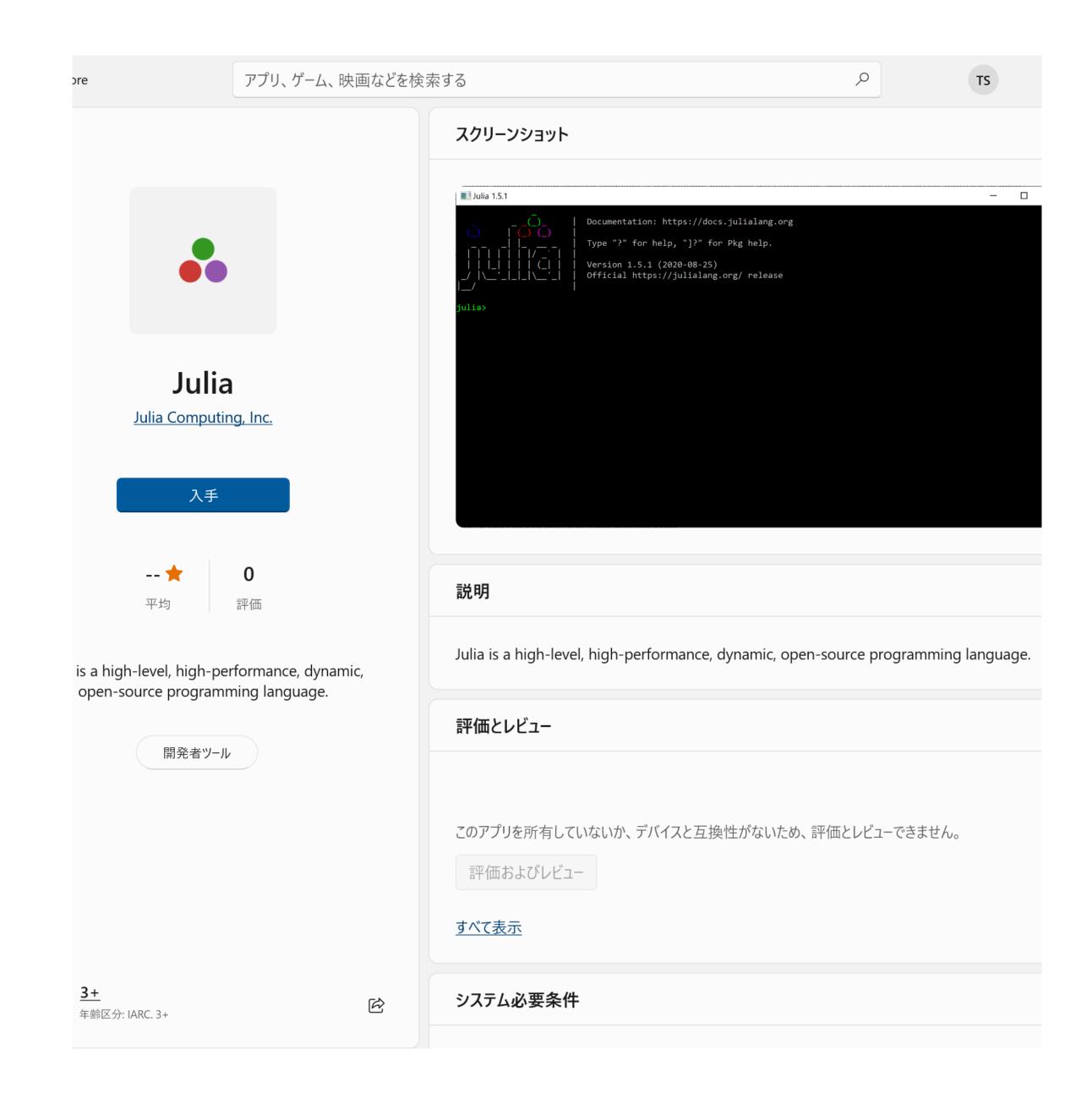
# Windowsのjuliaupを使ってお手軽julia体験 @takuizum

# Juliaup 2 la

## Windowsユーザーのための julia本体のバージョン管理ツール

## juliaup

- juliaのvscode拡張も手掛ける
   David Anthoffらが作者
- Juliaのパッケージではなくjulia そのもののバージョンを管理
- Microsoft storeから入手可能 (linuxやOSXは今後対応されるかも?)
- https://www.youtube.com/ watch?v=rFlbjWC6zYA

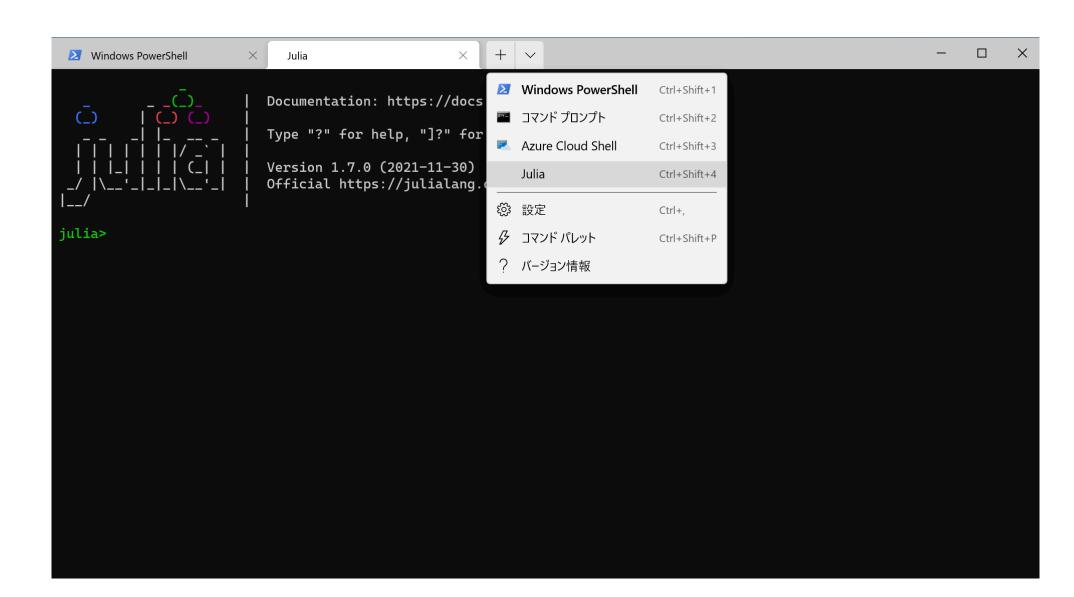


### インストールしよう

- 1. Storeから入手する。
  - ・一緒に「Windows Terminal」 

    Note 

    Not
- 2. ターミナルやコマンドプロンプトで「julia」と入力
  - ・以前に使っていたパスは消しておく。



# juliaupを使う

## Juliaの複数バージョンをインストール可能

- ・インストール先は「C:\Users\ユーザー名\.julia」
- · 「juliaup `command`」
  - add 1.2.3
  - default 1.2.3
  - st
  - update

https://github.com/JuliaLang/juliaup







### `add`コマンドについて詳しく

#### Channelを指定してインストールする

Channels: release, Its, beta, rc, 任意のバージョンNo(1.6.3とか)

• 'juliaup add lts', 'juliaup add 1.7.0-rcl'

任意のChannelを追加する。

- ・現状nightly buildのchannelはない。自分でLINKを作る必要がある。
- Nightly buildのバイナリファイルに対して、任意のchannel名をリンク させる。
- PS C:\Users\takuizum> juliaup link dev C:\Úsers\takuizum\.julia\juliaup\Julia-1.8.0-DEV\bin

## 嬉しいポイント

- ・.julia/以下のファイル構成は全く同じ。
- .julia/juliaup
- ・環境変数を書き換えなくてもよい(juliaup内でdefault設定を書き換えられる)。



## juliaup.json

これまでにインストールしたバージョンや channlesがjson形式で保存されている。 juliaup stで確認できる情報とほぼ等価。

```
💹 juliaup - メモ帳
ファイル(F) 編集(E) 書式(O) 表示(V) ヘルプ(H)
 "Default": "1.7",
 "InstalledVersions":
   "1. 7. 0-rc1+0~x64":
    "Path": ".¥¥julia-1.7.0-rc1+0~x64"
  "1. 6. 4+0~x64": {
    "Path": ". ¥¥ jul i a-1. 6. 4+0~x64"
  "1. 7. 0+0~x64": {
    "1. 0. 3+0~x64": {
    "InstalledChannels": {
    "Version": "1.6.4+0~x64"
  "1. 0. 3": {
    "Version": "1.0.3+0~x64"
   "release": {
    "Version": "1.7.0+0~x64"
    "Version": "1.7.0+0~x64"
    "Args": []
  ″1. 7. 0-rc1″: {
    "Version": "1.7.0-rc1+0~x64"
    "Version": "1.7.0+0~x64"
    "Version": "1.7.0+0~x64"
```

## Juliaを起動する

## julia +チャンネル名

juliaコマンドでは、`default`に指定したバージョンが起動する。

#### 任意のchannelを起動するならPS C:\Users\takuizum> julia +チャソネル名

## Juliaupをリセットする

## /.julia/juluaup を消す

1) Windows storeから入手したアプリを消す。



2) /.Julia/juliaupを消す。

ここにChannelsの情報やDLしたバイナリが格納されている。